

2019年 東三河地域問題セミナー

第 2 回 公 開 講 座 の ご 案 内

東三河地域問題セミナー(第2回公開講座)を下記のとおり開催いたしますので、ご参加ください。

1. 日 時 2019年5月29日(水) 午後2時00分～午後4時00分

1. 場 所 豊橋市民センター(カリオンビル) 6階 多目的ホール  
(住所:豊橋市松葉町二丁目63番地、電話:0532-56-5141)

3. テ ー マ

**北海道の被害地震から学ぶ  
—1611年慶長三陸地震～2018年北海道胆振東部地震—**

**北海道大学 名誉教授 鏡味 洋史 氏**

4. 参 加 費 無料

平成30年9月6日に発生した北海道胆振東部地震では、北海道がかつて経験したことがない「震度7」を観測し、各地に甚大な被害をもたらし、地域の人々の生活が一変した様子の報道等がありました。さらに、平成31年2月21日には、「震度6弱」の余震が発生し、震度の大きい地震が現在も続いている様子を知りました。近年、我が国では、東日本大震災後、長野県御嶽山、熊本地震など、日本全国で多くの地震による災害がみられていますが、愛知県東三河地域を含む東海地方では、近い将来東海・東南海地震が起こると言われながらその兆候がみられません。そのため、日本の近年の地震によりこれまでの生活が一変し、地域づくりに多大な影響を及ぼしていることを実感し、近未来東三河地域等を含め東海・東南海地震への備えを改めて考える機会が必要ではないかと考えました。

そこで、今回のセミナーでは、長年に渡り北海道で地震防災の研究をされています北海道大学名誉教授 鏡味先生に、最初に北海道胆振東部地震の概要と被害の特徴についてお話し頂きます。この地震でクローズアップされた問題の多くは決して新しいものではなく過去の地震で繰返し経験し危険性が指摘されてきたものです。次いで、北海道の過去の地震被害事例からこれらの問題点を指摘して頂きます。東三河地域は、近未来に発生すると予想されている東海・東南海・南海地震から逃れることはできません。しかし、北海道に比べはるかに長い被災の歴史があり、これらの経験から学ぶことは多いことにも言及して頂きます。

是非、皆様、ご参加くださいますようお願い申し上げます。

◆出欠のご連絡を5月27日(月)までにFAXもしくはE-mailにてお送り下さい。

\*\*\*\*\*

公益社団法人 東三河地域研究センター 行 FAX:0532-57-3780 E-mail:webmaster@hrrc.jp

東三河地域問題セミナー(2019年 第2回公開講座) 出欠票

ご出席

ご欠席

お問合せ(公社)東三河地域研究センター 住所 愛知県豊橋市駅前大通三丁目53番地 TEL 0532-21-6647

団体名・会社名		
ご所属・お役職名		
お名前		
連絡先	T E L F A X E-Mail	T E L F A X E-Mail